

(お知らせ)

定期検査中の柏崎刈羽原子力発電所 2 号機における原子炉压力容器に
接続される配管の閉止プラグ固定用治具の一部損傷について

平成 15 年 10 月 21 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 2 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は平成 15 年 3 月 10 日より第 10 回定期検査を実施中（平成 14 年 9 月 20 日より点検停止）ですが、本日 16 時 20 分頃、原子炉压力容器内の原子炉再循環ポンプ A 号機の吸込ノズルの閉止プラグ（仮設）を取り外すために、閉止プラグの状況を水中カメラで確認していたところ、同プラグの固定用治具に一部損傷があることを確認しました。

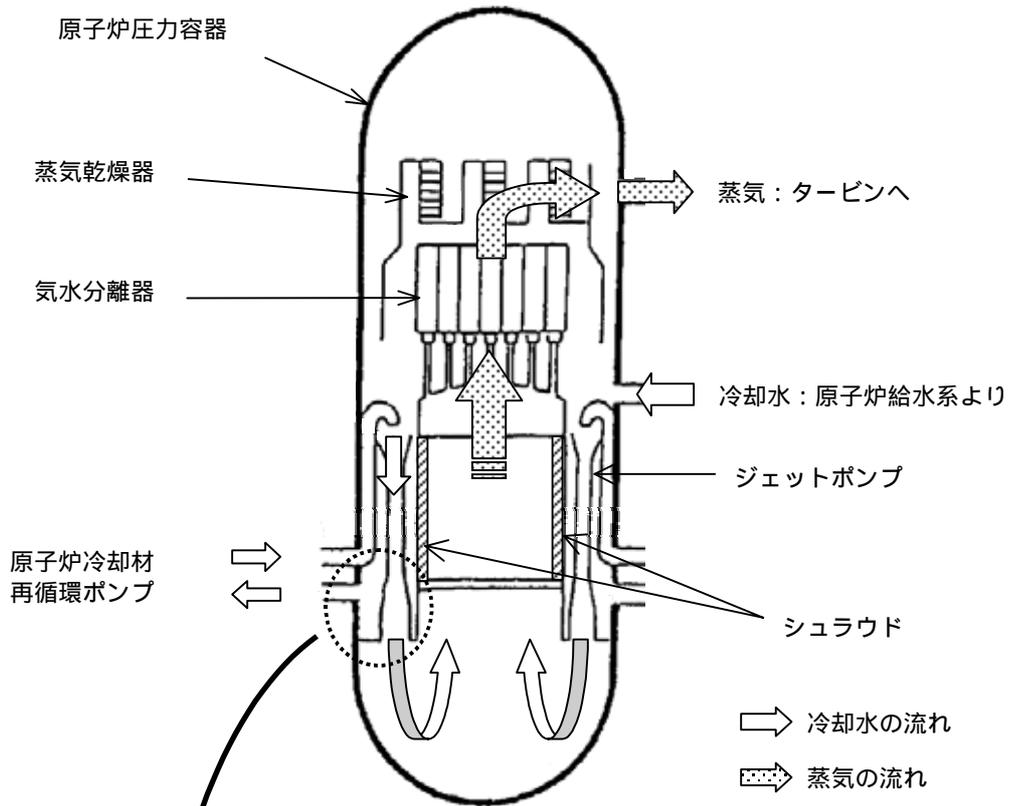
そのため、周囲を確認したところ、シュラウドサポートプレート上に固定用治具のボルト類が落下しているのを発見しました。

今後、ボルト類を回収するとともに、原因調査を行います。

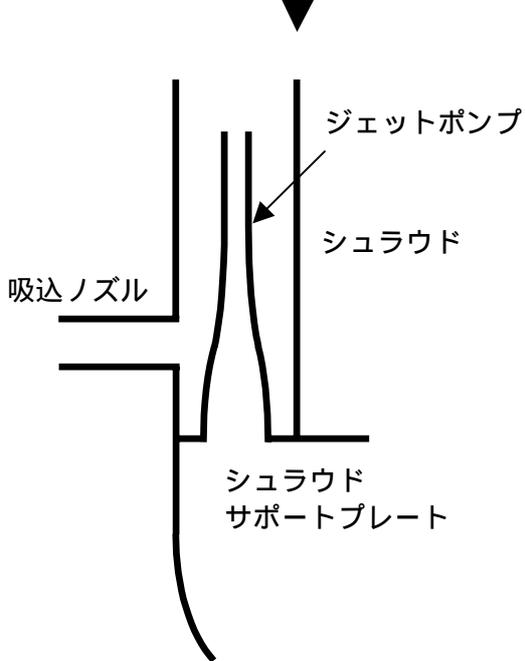
以 上

(注 1) 閉止プラグとは、原子炉再循環系配管での作業の際に原子炉内の水が配管に流れていかないようにするための仮設の蓋で、シュラウドとプラグ間に固定用治具を入れて、プラグを配管側に押し込んでいます。

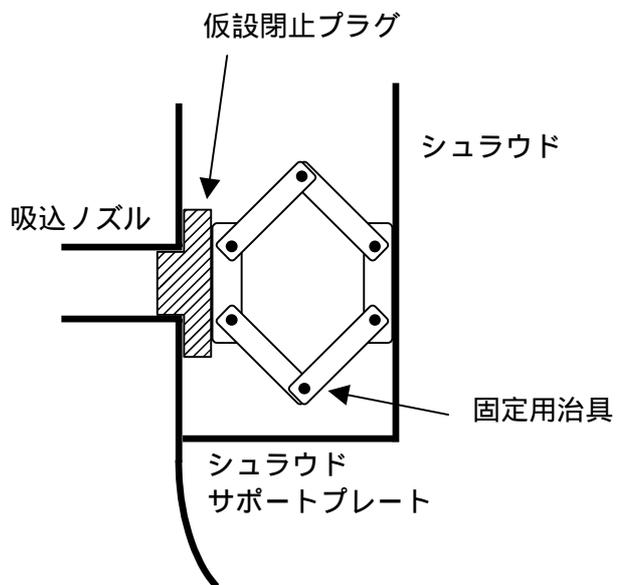
(注 2) 発見されたボルトの大きさは、長さ 4~6cm、太さ 6mm 或いは 16mm と推定しています。また、ボルトの他にナットらしきものも確認されています。



原子炉圧力容器全体図



吸込ノズル付近概略図



仮設閉止プラグ取付け部詳細図